

野生鳥獣管理における
「棲み分け論(ゾーニング管理)と
広域連携の必要について」

ークマ対策を例にしてー

環境省登録・鳥獣保護管理プランナー
羽澄俊裕

■現代に関する基本的な認識の共有

1 温暖化に伴う地球規模の気候変動の時代

- 大型化する災害に対応しなくてはならない
- 生態系の変化に対応しなくてはならない
- 農林水産業を適応させなくてはならない
- ライフスタイルを適応させなくてはならない

2 人口減少の時代

- 人口減少は、昭和に始まった過疎により、地方から先行
- 農林水産事業者の減少
- 狩猟者の減少
- 人が撤退する時代



野生動物に向き合う
体制が崩れた

■ 新たな時代の獣害対策 2つの課題

1 里の問題

- 獣は農村から市街地へ、都市へ、と侵入する
- 日常的に大捕物に時間を割かれる

- 棲み分けの境界を再構築する(ゾーニング)
- どこで押し戻すか
- どこで野生動物を排除するか

2 奥山の問題

- 森林生態系(生物多様性)が劣化する
- 山の中の野生動物の食物が消える(里依存が進む)
- 自然公園の景観が破壊される

- シカの個体数管理(高密度化を抑制する)
(捕獲、牧草地や伐採跡地の食物供給源の管理)
- 柵による植物群落の保存

■ 出沒が招く問題の本質

1 人間にとっての被害

- 人の生命・財産に対する損害
(人身事故、産業被害、生活環境害、保健衛生害、交通事故、etc.)

2 野生動物にとっても被害

- 人為的空間、人為的食物に依存し、野生で生きる尊厳を失う

3 被害が発生した後に実施される駆除

- 人身事故を未然に防ぐものではない
- 産業や生活環境害等の予防的防除(リスクマネジメント)になっていない
- 目的が害獣駆除であるので、野生動物の資源的価値が十分に活かされない

里における問題の改善は 徹底した「棲み分け」にある

■「棲み分け」に向けたゾーニング技術

ゾーニング = 集落ゾーニング + 広域ゾーニング

■棲み分けにむけたゾーニング技術

STEP1 「集落ゾーニング」と管理

集落単位で実施する「集落診断」と、それに基づく効果的被害防除の推進。
それによって、排除すべき空間から野生動物を排除する。

集落防衛の具体的技術は、「鳥獣被害防止特措法」関連技術マニュアル等
資料参照 **（農水省HP／農村振興局／鳥獣被害対策コーナー）**

Point① 集落（地域住民）の活力に沿った対処

- 地域再生の意志に合致する範囲の防衛
- Cost（予算、労働力）を継続できる範囲の防衛
- 地域の意志を無視して強引に線引きする必要はない

Point② 高齢化によって集落防衛を実施できない集落

- 最後の住民の離村まで、個別にケアする（高齢者福祉）

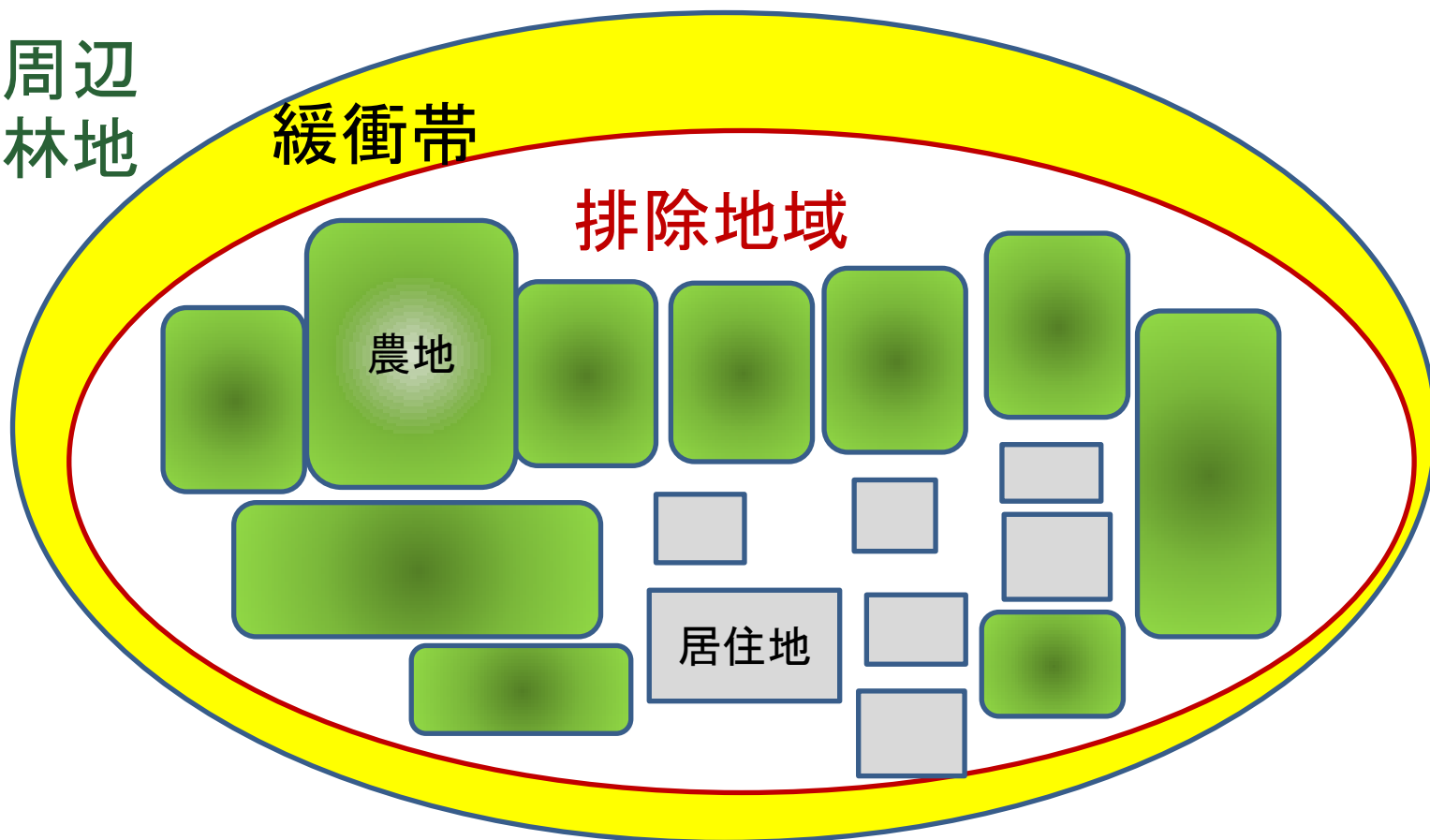
※ 集落防衛が不可能になった地域から、その先へと獣が進出する

■「集落ゾーニング」のイメージ

集落周辺
の樹林地

緩衝帯

排除地域



- 樹林地 : 毎年、定期的な森林管理作業を維持する。
- 緩衝帯 : 獣が潜まないよう、下刈りを継続して開放空間を維持する。
できれば、銃・猟犬によって獣の警戒心を醸成。
- 排除地域 : 農地の防除のほか、里への執着個体を捕獲して排除する。

STEP2 「広域ゾーニング」と管理

- 市町村・県で広域的に行う地域防衛。
- 「集落ゾーニング」の隙間を縫って平野部、市街地、都市部へと侵入してくる獣を、押し戻す(排除する)範囲を明確にする。
- 侵入してくる経路を特定して、遮断する。
- 防衛ゾーン(排除地域)に侵入する人慣れ個体を捕獲して排除する

Point① ゾーンは排除地域のみ

- 集落ゾーニングに重ねて設定
- 地域再生の意志に合致する範囲の防衛
- Cost(予算、労働力)を継続できる範囲の防衛

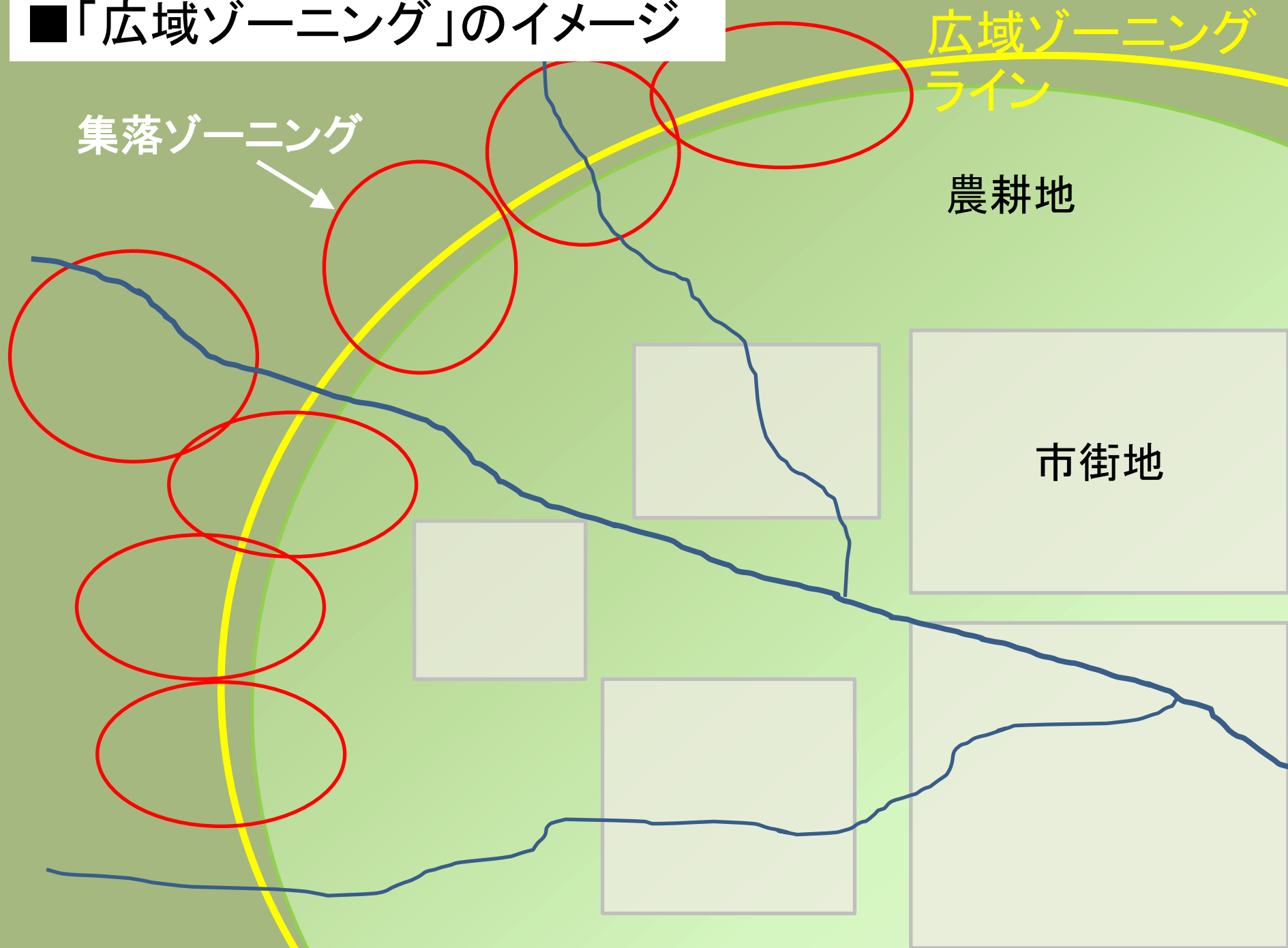
Point② 物理的防衛手段

- 侵入経路を特定して環境要素を修正する
(河川敷、斜面林の管理、誘引物除去、etc.)

Point③ 心理的防衛手段

- 境界部分での人間活動を強化する。

■「広域ゾーニング」のイメージ



■ゾーニング管理の実行に向けた分野横断連携

鳥獣管理の司令塔

鳥獣行政

農地の防衛

農政

樹林地の管理

林政

河川敷の植生の管理

河川行政

捕獲

鳥獣行政

土地利用・都市計画

全体

地域再生

全体

■ゾーニング管理の実行に向けた広域連携

国の機関

環境省 鳥獣の広域保護管理の司令塔

農水省 里での被害管理主導

林野庁 奥山の森林生態系管理主導

国交省 河川管理主導

都道府県 管轄内の広域ゾーニング管理の主導
隣県との調整

市町村 管轄内の集落ゾーニング管理の主導
隣接市町村との調整